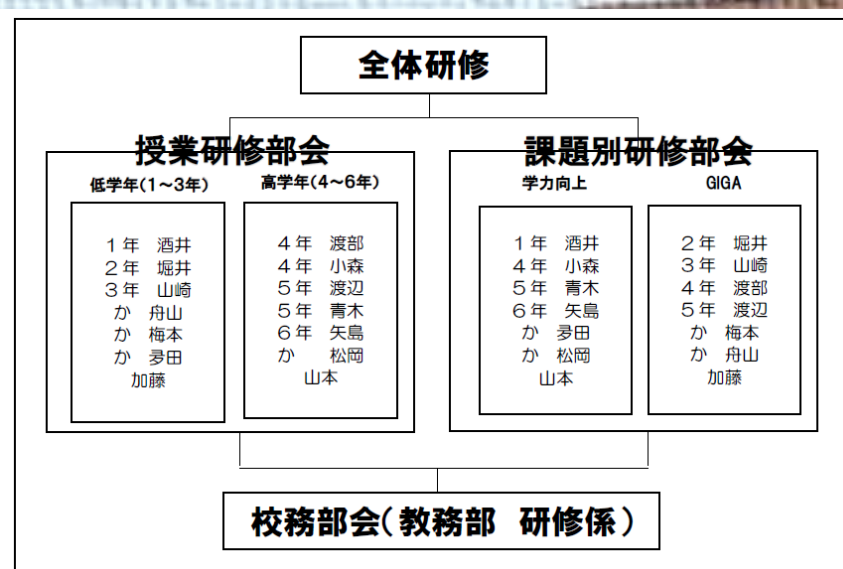


令和5年度 千歳市立泉沢小学校 研修の全体構造

泉沢小学校では、令和5年度から3年計画で、児童（学習者）の学びに焦点を当てた研修を行います。
先の見えない時代に生きる児童が主体的に学習に向かうための学習の在り方を職員全体で探っていきます。

泉沢小学校の研修組織



研修の年次計画

一 年 次	○研究計画の立案と確立 ○授業改革①→個別最適な学びの成立(重点) ○課題別研究部会の活動の推進 ○ミニ研修の充実
二 年 次	○研究計画の見直し ○授業改革②→協働的な学びの成立(重点) ○単元内自由進度学習の日常化 ○授業研修部会での日常的な授業公開
三 年 次	○研究計画の見直し ○日常的なルーブリックの活用 ○泉沢小学校の自律した学習者育成のための方策(IDJ マニュアル作成) ○公開研究会の実施 ○研究のまとめ

泉沢小学校の学校教育目標

思いやりをもち 助け合う子(情) ねばり強く がんばりぬく子(意) 進んで学び 深く考える子(知) 明るく元気で たくましい子(体)

令和5年度の重点目標

笑顔と思いやりをもつ たくましい子の育成
～「気づきと行動の実践」と「自己決定・自己実現」への深化～

研究主題

先の見えない時代に立ち向かう自律した学習者の育成
～学習者主体の授業改革を通して～

目指す児童像

- 学び方を身に付け、1人でも学び続けることができる児童
自分に合った学び方を選択し、学びに没頭できる児童
- 自分の考えをもち、他者の考えのよさを取り入れながら、学び合う児童
自分の意見をもち、異なる考え方も大切にしながら協働的に学ぶ児童

研究仮説

仮説1

学びの選択肢を子ども達に委ね、自己決定させることによって、学びの本質的な楽しさに気づき、自ら学び続ける子どもが育つであろう。

仮説2

他者と力を合わせて学ぶことによって、様々な見方や考え方に触れ、他者と折り合いをつけながら学び合う子どもが育つであろう。

研究の視点

視点1

個別最適な学びを支える指導の工夫

- 発問の精選(1単位時間内自由進度学習)
- 単元内自由進度学習
 - ・学習計画表の作成 ・魅力的なゴール設定
 - ・学びの選択肢(課題・順序・解決方法・表現方法の選択など)
 - ・学習用タブレットの活用(動画視聴の積極的活用 など)
 - ・発展的な学習→魅力的な学習
- 振り返りシート(1単位時間→単元全体)、ルーブリックの作成 など

視点2

協働的な学びを支える指導の工夫

- 多様な交流方法(ペア・グループ・自由対話・全体・ジグソー・ワールドカフェなど)
- 思考ツールの活用
- 学習用タブレットの活用(考えの共有)
- 子ども達が進める授業
- 外部との連携(地域人材・資源の発掘と活用) など

視点3

学習の基盤となる土台づくり

- 心理的安全性を高める学級経営 ○基礎学力調査(漢字・計算・音読・視写・都道府県名・地図記号など)
- 学びやすさを保障する最低限の学習規律や学習環境 ○家庭での学習の在り方 など